

地図とデータで見る
筑波大学
リーフレット

平成29年度



1 沿革・シンボルマーク

■ 沿革

筑波大学は、1973（昭和48）年に文系・理系から体育、芸術にも及ぶ学問を探究する総合大学として筑波研究学園都市に開学しました。

開学から40余年の新しい大学ですが、そのルーツは、1872（明治5）年、昌平坂学問所の跡地に日本で最初に設立された師範学校までさかのぼります。師範学校は幾度か改称され東京高等師範学校となりました。1949（昭和24）年に、東京高等師範学校、東京文理科大学、東京体育専門学校、東京農業教育専門学校の4校を包括して創設されたのが、前身の東京教育大学です。

■ シンボルマーク（校章・ロゴ・スクールカラー）



筑波大学

University of Tsukuba

本学の校章「五三の桐葉型」は、1903（明治36）年に改定された東京高等師範学校生徒徽章に始まり、1949（昭和24）年製作の東京教育大学学生バッジにも受け継がれました。1974（昭和49）年、本学評議会において「校章については東京教育大学の伝統を引き継ぎ」桐の葉とすることが承認されました。「五三の桐」と呼ばれる図形には、我が国の伝統的な紋章一般がそうであるように多くのヴァリエーションがあります。本学の校章は、花の部分のみ「蔭」（アウトライン）で表される独特のものです。

校章の色は、スクールカラーのつくば紫です。

■ ブランドスローガンとサブカラー

**IMAGINE
THE
FUTURE.**

開学からの理念である開かれた大学として、教育、研究をはじめあらゆる面で想像して未来を開く視点から、筑波らしさをIMAGINE THE FUTURE. と表現しました。筑波大学のブランドスローガンです。色は、サブカラーのつくばブルーです。

2 教育組織

9学群・23学類

学群

学類

人文・文化学群

人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類

社会・国際学群

社会学類、国際総合学類

人間学群

教育学類、心理学類、障害科学類

生命環境学群

生物学類、生物資源学類、地球学類

理工学群

数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、
工学システム学類、社会工学類

情報学群

情報科学類、情報メディア創成学類、
知識情報・図書館学類

医学群

医学類、看護学類、医療科学類

体育専門学群

芸術専門学群

大学院8研究科

教育研究科

スクールリーダーシップ開発、教科教育

人文社会科学研究科

哲学・思想、歴史・人類学、文芸・言語、現代語・現代文化、国際公共政策、国際地域研究、国際日本研究

ビジネス科学研究科（東京キャンパス）

経営システム科学、企業法学、企業科学、法曹、国際経営プロフェッショナル

数理工学物質科学研究科

数学、物理学、化学、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、電子・物理工学、
物性・分子工学、物質・材料工学

システム情報工学研究科

社会工学、リスク工学、コンピュータサイエンス、知能機能システム、構造
エネルギー工学

生命環境科学研究科

地球科学、生物科学、生物資源科学、環境科学、国際連携持続環境科学、
地球環境科学、地球進化科学、環境バイオマス共生学、国際地縁技術開
発科学、生物圏資源科学、生物機能科学、生命産業科学、持続環境学、
先端農業技術科学

人間総合科学研究科

スポーツ健康システム・マネジメント、フロンティア医科学、教育学、教
育基礎学、学校教育学、心理、心理学、障害科学、生涯発達、生涯発達
科学、ヒューマン・ケア科学、感性認知脳科学、スポーツ医学、生命シ
ステム医学、疾患制御医学、看護科学、体育学、体育科学、コーチング
学、芸術、世界遺産、世界文化遺産学、スポーツ国際開発学共同、大学
体育スポーツ高度化共同、国際連携食料健康科学

図書館情報メディア研究科

図書館情報メディア

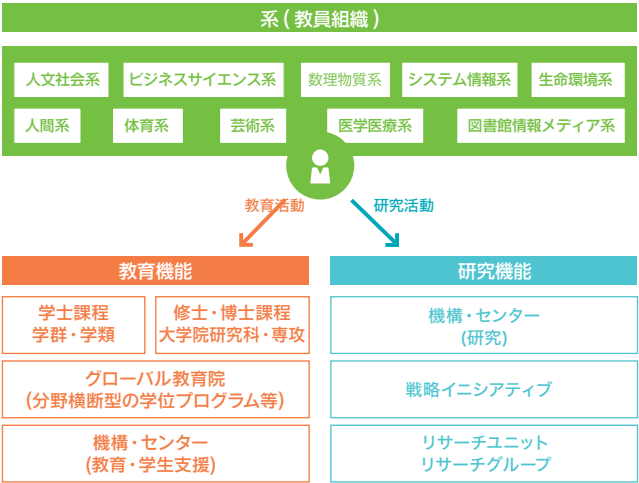
グローバル教育院

ヒューマンバイオロジー学位プログラム、エンパワーメント情報
学プログラム、ライフイノベーション学位プログラム
地球規模課題学位プログラム（学士）

3 教員組織と教職員数

■ 筑波大学独自の新たな教員組織「系」

筑波大学の教員は「系」に所属し、基盤的な研究を行いつつ、学群・学類、研究科・専攻、センター等それぞれの教育研究組織の目的に即した教育研究を担います。教員の所属組織を個々の教育研究組織から独立させることにより、各教育研究組織に異なる分野の教員が参画することが可能になり、学際融合・領域横断的な教育研究、新たな教育研究プログラムの創出を柔軟に行うことができます。



■ 教職員数

		総数	内女性数	内外国人数	内外国人数の 女性数
役員		11	1	1	1
教員	教授	639	68	17	5
	准教授	571	106	51	14
	講師	243	53	2	0
	助教	428	115	62	22
	助手	1	0	0	0
	附属学校教員	537	224	1	1
職員	事務系	738	334	1	1
	技術技能系・医療系	1,256	921	2	2

※平成29年5月1日現在 (学校基本調査より)

4 学生数 (在校生数)

学群・学類

※平成29年5月1日現在

学群・学類	総数	男子	女子
人文・文化学群			
人文学類	539	276	263
比較文化学類	365	130	235
日本語・日本文化学類	194	52	142
社会・国際学群			
社会学類	412	260	152
国際総合学類	424	189	235
人間学群			
教育学類	156	96	60
心理学類	227	95	132
障害科学類	152	38	114
生命環境学群			
生物学類	402	216	186
生物資源学類	603	294	309
地球学類	237	160	77
理工学群			
数学類	171	154	17
物理学類	270	243	27
化学類	216	164	52
応用理工学類	550	481	69
工学システム学類	583	525	58
社会工学類	531	420	111
情報学群			
情報科学類	410	372	38
情報メディア創成学類	260	197	63
知識情報・図書館学類	467	217	250
医学群			
医学類	795	514	281
看護学類	311	13	298
医療科学類	169	56	113
体育専門学群	1,032	729	303
芸術専門学群	468	95	373
合計	9,944	5,986	3,958

大学院研究科

大学院研究科	総数	男子	女子
教育研究科	207	128	79
人文社会科学研究科	613	255	358
ビジネス科学研究科	501	376	125
数理解物質科学研究科	780	675	105
システム情報工学研究科	1,259	1,041	218
生命環境科学研究科	1,080	644	436
人間総合科学研究科	2,052	1,061	991
図書館情報メディア研究科	216	118	98
グローバル教育院	126	65	61
合計	6,834	4,363	2,471

5 入学者状況

平成29年度入学者データ

※平成29年5月1日現在

入学者の都道府県別内訳は、茨城県16%、東京都13%、千葉県・埼玉県8%の順となっています。

都道府県	入学者数	男子	女子
北海道	48	29	19
青森県	23	7	16
岩手県	18	14	4
宮城県	19	11	8
秋田県	13	9	4
山形県	12	10	2
福島県	42	24	18
茨城県	347	198	149
栃木県	58	36	22
群馬県	76	47	29
埼玉県	182	132	50
千葉県	187	114	73
東京都	296	176	120
神奈川県	113	71	42
新潟県	40	26	14
富山県	18	12	6
石川県	22	16	6
福井県	13	9	4
山梨県	16	12	4
長野県	52	35	17
岐阜県	21	15	6
静岡県	73	51	22
愛知県	78	49	29
三重県	15	6	9
滋賀県	9	8	1
京都府	17	14	3
大阪府	40	24	16
兵庫県	28	19	9
奈良県	20	11	9
和歌山県	4	1	3
鳥取県	3	1	2
島根県	4	3	1
岡山県	21	13	8
広島県	29	14	15
山口県	14	10	4
徳島県	4	2	2
香川県	13	9	4
愛媛県	25	13	12
高知県	4	0	4
福岡県	40	27	13
佐賀県	11	6	5
長崎県	16	10	6
熊本県	19	10	9
大分県	15	10	5
宮崎県	16	9	7
鹿児島県	13	9	4
沖縄県	24	14	10
高校卒業程度認定試験	2	1	1
外国の学校等	42	24	18
文部科学大臣の指定した者	1	0	1
在外教育施設	1	0	1
合計	2,217	1,371	846

6 進路状況

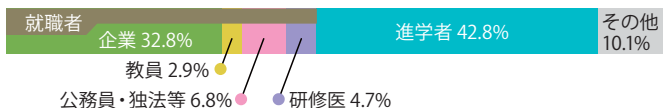
平成28年度 学群・学類の卒業生の進路（実数）

※平成29年5月1日現在

学群・学類	卒業 者	就職 者	就職者の内訳				研修医	進学者	その他
			企業	教員	公務員	独法等			
人文・文化学群									
人文学類	115(61)	60(33)	43(25)	2(2)	15(6)			34(19)	21(9)
比較文化学類	85(56)	57(40)	47(32)	1(1)	9(7)			12(3)	16(13)
日本語・日本文化学類	40(30)	30(24)	20(18)	6(2)	4(4)			7(4)	3(2)
社会・国際学群									
社会学類	115(41)	84(30)	53(18)	1(0)	30(12)			16(4)	15(7)
国際総合学類	93(61)	65(41)	55(33)	2(2)	8(6)			14(9)	14(11)
人間学群									
教育学類	36(17)	18(9)	5(2)	4(2)	9(5)			8(3)	10(5)
心理学類	49(21)	26(11)	22(10)	1(1)	3(0)			15(7)	8(3)
障害科学類	34(26)	21(17)	11(10)	3(1)	7(6)			10(7)	3(2)
生命環境学群									
生物学類	89(40)	23(10)	20(9)	1(0)	2(1)			60(26)	6(4)
生物資源学類	149(76)	36(22)	27(17)	2(2)	7(3)			103(49)	10(5)
地球学類	57(16)	11(5)	10(5)		1(0)			39(9)	7(2)
理工学群									
数学類	44(5)	11(3)	6(1)	5(2)				31(1)	2(1)
物理学類	61(8)	13(2)	12(2)	1(0)				44(4)	4(2)
化学類	49(14)	5(4)	2(1)	3(3)				40(9)	4(1)
応用理工学類	146(15)	14(3)	12(2)		2(1)			119(11)	13(1)
工学システム学類	134(10)	15(1)	12(1)		3(0)			118(8)	1(1)
社会工学類	133(23)	67(16)	58(15)		9(1)			55(6)	11(1)
情報学群									
情報科学類	93(6)	19(1)	18(1)		1(0)			70(4)	4(1)
情報メディア創成学類	61(18)	20(10)	20(10)					39(8)	2(0)
知識情報・図書館学類	115(61)	80(48)	56(30)		24(18)			24(10)	11(3)
医学群									
医学類	107(48)						106(48)		1(0)
看護学類	81(76)	74(69)	65(60)	2(2)	7(7)			6(6)	1(1)
医療科学類	35(30)	13(12)	12(11)		1(1)			21(17)	1(1)
体育専門学群									
体育専門学群	249(71)	154(48)	115(35)	29(11)	10(2)			53(13)	42(10)
芸術専門学群									
芸術専門学群	98(87)	46(43)	42(39)	2(2)	2(2)			32(27)	20(17)
合計	2,268(917)	962(502)	743(387)	65(33)	154(82)	106(48)	970(264)	230(103)	
()は女子内数									

()は女子内数

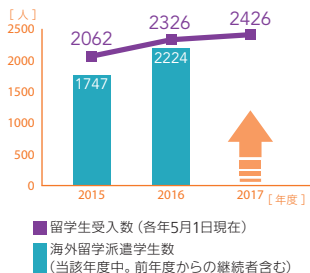
平成28年度 学群・学類の卒業生の進路（割合）



7 国際交流

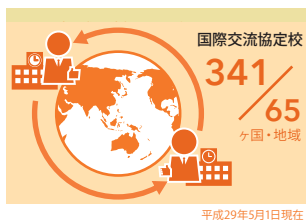
留学生の受入

筑波大学は、100を超える国・地域から留学生を受け入れています。英語のみで学位が取得できる約40のプログラムを提供する一方、レベルに合わせたきめ細やかな日本語教育が受けられることも特徴です。



学生の海外留学

派遣大学数は、平成28年度で180校にもおよび、国別ではアメリカが最も多く、中国、フランス、韓国の順となっています。派遣学生の比率は学群生が約4割、大学院生が約6割です。



筑波大学海外オフィス所在地

12カ国・地域、13ヶ所に点在する海外オフィス



最も国際性のある大学2017 国内2位

世界の教育市場に関する調査を行う英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE)」は2月1日、「最も国際性のある大学2017」ランキングを発表し、筑波大学は国内2位に、世界で141位に選出されました。

国内順位	世界順位	機関名
1	136	東京大学
2	141	筑波大学
3	143	東京工業大学
4	149	東北大学

8 研究成果

■ ノーベル賞受賞者

物理学賞1965年 ■ 朝永 振一郎(東京教育大学元学長、名誉教授)

「量子電気力学、とくに超多時間理論およびくりこみ理論の展開」

物理学賞1973年 ■ 江崎 玲於奈(本学元学長、名誉教授)

「半導体内及び超伝導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」

化学賞2000年 ■ 白川 英樹(本学名誉教授)

「導電性ポリマーの発見と開発」

■ 学術論文の被引用数 国内11位

大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして「学術論文」の被引用数があります。クラリベイト・アナリティクス社「Essential Science Indicators」データベースによれば、2006年1月1日～2016年12月31日の11年間の論文被引用数は、国内11位にランキングされています。

国内研究機関の総合トップ20機関

順位	機関名	高被引用論文数	割合
1	東京大学	1,326	1.60%
2	京都大学	764	1.20%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	623	2.40%
4	大阪大学	540	1.10%
5	東北大学	497	1.00%
6	名古屋大学	395	1.20%
7	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	327	1.20%
8	九州大学	319	0.90%
9	東京工業大学	304	1.20%
10	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	303	2.10%
11	筑波大学	252	1.20%
12	北海道大学	233	0.70%
13	岡山大学	186	1.20%
13	広島大学	186	1.00%
15	早稲田大学	165	1.40%
16	神戸大学	158	1.00%
17	慶應義塾大学	153	0.90%
18	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構*	148	1.20%
19	国立がん研究センター	133	2.10%
20	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	132	2.10%

*大学共同利用機関法人 自然科学研究機構は構成する5研究所の組織名を名寄せした集計値です。

※ 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)は戦略的に科学技術イノベーションの創出を推進するファンディングエージェンシーとしての事業内容を鑑みランキングには入れてありませんが、高被引用論文数は725報、高被引用論文の割合は2.3%でした。

9 外部資金

■ 科研費平成28年度採択件数で全国8位

順位	機関名	採択件数 (新規+継続)	新規件数	順位	機関名	採択件数 (新規+継続)	新規件数
1	東京大学	3,862	1,407	6	名古屋大学	1,843	696
2	京都大学	3,050	1,133	7	北海道大学	1,681	637
3	大阪大学	2,585	957	8	筑波大学	1,294	494
4	東北大学	2,510	961	9	神戸大学	1,107	397
5	九州大学	1,962	691	10	広島大学	1,075	407

※文部科学省「平成28年度科学研究費助成事業の配分について」（平成28年10月）より

（注1）上記資料では、主要種目のみの公表

（注2）研究代表者が所属する研究機関により整理

■ 科研費平成28年度 9分野で1位を獲得

ウェブ情報学・サービス情報学／図書館情報学・人文社会情報学／環境モデリング・保全修復技術／身体教育学／スポーツ科学／応用健康科学／人文地理学／経済統計／特別支援教育の9分野で1位を獲得。

※平成28年度科研費「細目採択件数（過去5年の新規採択の累計数）」より

■ 外部資金受入実績（平成28年度）

区分	件数	受入金額
科学研究費助成事業	1,496	4,407,088
受託研究	357	4,940,870
共同研究（民間等との共同研究のみ）	401	1,019,570
寄附金（学術研究関係）および研究助成金	839	1,350,734

（単位：千円）

■ 代表的な外部資金採択例

事業名	プロジェクト名	代表研究者
戦略的創造研究推進事業 ERATO	野村集団微生物制御プロジェクト	生命環境系 野村 暢彦（教授）
戦略的創造研究推進事業 CREST	光・電子融合第一原理計算ソフトウェアの開発と応用	計算科学研究センター 矢花 一浩（教授）
戦略的創造研究推進事業 CREST	光を用いた睡眠の機能と制御機構の統合的解析	国際総合睡眠医学科学研究機構 柳沢 正史（機構長）
戦略的創造研究推進事業 CREST	CyborgCrowd：柔軟でスケラブルな人と機械の知力集約	図書館情報メディア系 森嶋 厚行（教授）

10 産学官連携

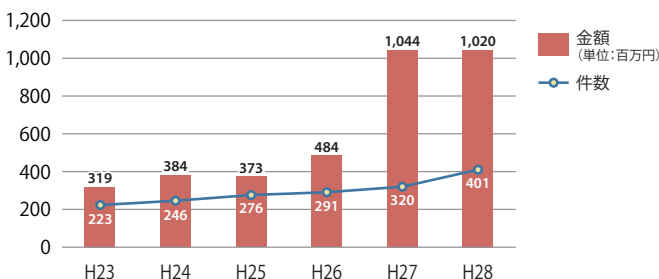
本学の平成22年度から平成27年度の民間共同研究の平均伸び率全国第2位

筑波大学では、平成26年4月に国際産学連携本部を設置し、大型共同研究獲得に舵を切りました。外部資金のみで運営する“開発研究組織”、企業の将来課題を学際研究で解決する“M2B2A*型産学連携”、企業担当者を教員として雇用する“特別共同研究事業”、製薬企業を中心とする“海外連携強化”を推進したことで、民間共同研究費の受入額が飛躍的に伸びました。 *Market to Business to Academia

順位	機関名	伸び率	順位	機関名	伸び率
1	山形大学	52.7%増	6	北海道大学	14.3%増
2	筑波大学	35.2%増	7	早稲田大学	13.4%増
3	東北大学	17.2%増	8	千葉大学	13.1%増
4	名古屋工業大学	16.2%増	9	豊橋技術科学大学	12.6%増
5	長崎大学	15.6%増	10	信州大学	11.6%増

※文部科学省『平成27年度大学等における産学連携等実施状況について』より

筑波大学の国内民間共同研究受入額



開発研究センター

社会還元型の研究を推進し、イノベーション創出を促進するために、外部資金等を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築する組織です。現在5つの開発研究センターが国際産学連携本部の下に開設されています。

- ・藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター
- ・プレシジョン・メディスン開発研究センター
- ・スポーツイノベーション開発研究センター
- ・未来社会工学開発研究センター
- ・ヘルスサービス開発研究センター

11 大学発ベンチャー

社会とつながり未来を拓く ベンチャー支援と産学連携の推進

研究成果を広く社会に開き、還元していくことは、社会に貢献するという大学の重要なミッションの一つです。筑波大学は、大学発ベンチャーの育成及び共同研究の促進により、研究成果の産業界への技術移転を促し、社会経済に変革をもたらすイノベーションの創出に寄与します。現役の企業経営者や起業経験者による実践的な起業家教育、国際産学連携本部を中心とした起業・技術移転支援により、筑波大学のベンチャー設立累計は、我が国の大学でトップクラスの実績を有しています。

筑波クリエイティブ・キャンプ

多くの起業家を生み出す“日本のシリコンバレー”となることを目指し、授業の一環として、「筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック」（入門編）と「筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト」（発展編）を毎年実施しています。

この授業では、C Channel株式会社のCEO森川亮氏（前LINE株式会社代表取締役社長）をはじめとする企業経営者や起業経験者による実践的な起業家教育を行っています。

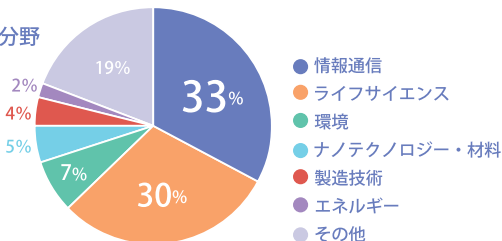
筑波大学発のベンチャー企業



平成29年5月1日
ベンチャー設立累計

118 社

主な
業務分野



※経済産業省の調査による「平成28年度大学発ベンチャー調査」で大学発ベンチャー創出数において東京大学、京都大学について第3位となりました。

12 社会貢献

■ つくば国際戦略総合特区

2011年、つくば市は国際戦略総合特区に指定されました。つくば地域の大学・研究機関の集積を生かし、生活や環境の分野でイノベーションを進め短期間で新産業につなげる計画です。国際戦略総合特区に指定された地域では、国や地方自治体から規制の緩和や、財政の支援を受けながら産業の振興を目指します。

現在、8つのプロジェクトが進行中で、筑波大学は7つのプロジェクトに参画しています。

- ・次世代がん治療 (BNCT) の開発実用化
- ・生活支援ロボットの実用化
- ・藻類バイオマスエネルギーの実用化
- ・TIA-nano世界的ナノテク拠点の形成
- ・筑波生物医学資源を基盤とする革新的医薬品・医療技術の開発
- ・核医学検査薬 (テクネチウム製剤) の国際化
- ・革新的ロボット医療機器・医療技術の実用化と世界的拠点形成
- ・戦略的都市鉱山リサイクルシステムの開発実用化

■ 高大連携

筑波研究学園都市という立地や総合大学という特性を生かし、高大連携活動を支援しています。高校生の人材育成に貢献する為に、最前線で活躍する本学教員を派遣する出前授業や大学の授業が体験できる模擬授業等があります。

■ 多様な社会貢献プロジェクト

「科学振興」「文化、地域活性化」「国際、環境教育」「健康・医療・福祉」「防災・復興支援」等、幅広い学問分野を持つ本学ならではの取り組みを展開しています。

代表例 (平成28年度45プロジェクト中 3件抜粋)

国際	人文社会系 明石 純一(准教授)	国際都市つくばの新しい国際化施策 定住外国籍児童に対する「教育プログラム」
文化・地域活性化	医療系学生団体 つくばけやきっず	附属病院に入院・通院中の子どもたちが描いた絵を花火として打ち上げる「ゆめ花火」
防災・復興支援	システム情報系 藤井 さやか(准教授)	常総市復興計画推進に向けた大学院講義と連動したまちづくりワークショップ

13 附属図書館

国内有数の広さと蔵書数を誇る中央図書館と4館の
専門図書館（筑波キャンパス3館、東京キャンパス1館）

利用者数（平成28年度実績）

入館者総数 1,036,398人
2,962人/日
貸出利用者数 120,366人
344人/日
貸出冊数 307,390冊
879冊/日

蔵書数（平成28年3月31日現在）

種別	媒体	総蔵書数
図書	和書	1,620,649冊
	洋書	1,041,657冊
	電子ブック	32,690タイトル
雑誌	和雑誌	17,400タイトル
	洋雑誌	12,869タイトル
	電子ジャーナル	29,586タイトル



筑波キャンパス		学期中	休業中
●中央図書館	月～金	8:30～24:00	9:00～20:00
	土・日・祝	9:00～20:00	9:00～18:00
●体育・芸術図書館 ●図書館情報学図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～17:00
	土・日・祝	10:00～18:00	休館
●医学図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～20:00 ※
	土・日・祝	9:00～22:00	

※ 2月と9月は学期中と同じ時間です。

東京キャンパス	月	火～金	土	日	祝
●大塚図書館	10:30～18:30	10:00～21:10	10:00～19:50	10:00～18:00	休館

臨時休館・開館時間の変更等はその都度、図書館webサイト等でお知らせいたします。

14 附属病院

■ 高度医療に特化した特定機能病院

筑波大学附属病院は県内唯一の特定機能病院として、高度医療に特化した診療を行っています。医育機関としての機能も有しており、平成27年度初期研修医マッチング調査では、69名と国立大学病院のうち、東京大学、東京医科歯科大学、京都大学に次いで4番目に人気の高い研修先としてランキングしています。

■ 病院データ

■ 37診療科 (37診療グループ)

■ スタッフ数 (常勤職員)

■ 病床数 800床

1,933名 (平成29年4月1日現在)

■ 手術件数

全国ランキング

国立大学病院
ランキング

脳腫瘍	5位	2位
心筋焼灼術	6位	1位
ペースメーカー	8位	2位
甲状腺がん	12位	1位
子宮・卵巣がん	26位	5位
がん放射線治療	15位	3位

※週刊朝日MOOK「手術数でわかるいい病院2017」より改変

■ 陽子線治療のパイオニア「陽子線医学利用研究センター」

筑波大学は、1983年より陽子線治療の本格的臨床研究を始め、国内で最も長い歴史と多くの優れた実績を持っています。特に、肝臓がんなど体の深部に発生したがんに対しては、世界に先駆けて陽子線治療を行っており、その治療法は現在、世界のスタンダードとして高い評価を受けています。また、小児がんの陽子線治療の実績は国内で最も多く、平成28年4月の保険収載に際しては、当院における多くの治療実績がエビデンスとして提示されました。

■ 治療から予防・先制医療へ

従来の高度医療の提供のみならず、人間ドック機能「つくば予防医学研究センター」やアスリートから生活習慣病までサポートする「つくばスポーツ医学・健康科学センター」を通じて、健康長寿社会の実現に寄与していきます。

15 附属学校

様々な教育実践を行っている11校の附属学校

※平成29年5月1日現在

学校名／創立年 (所在地)	特色	児童・生徒数 (教員数)
附属小学校 1873(明治6)年 (東京都)	① 小学校でも教科担任制 (H26～32 人クラス学年進行) ② 学習公開・研究発表会(年 2 回、延べ 8 千人)での研究成果の発信	832人 (教員 36人)
附属中学校 1888(明治21)年 (東京都)	① 「言語活動」「体験学習」を重視した教科 指導 ② 生徒が一から作り上げる学校行事(富 浦臨海学校、発表会)	600人 (教員 30人)
附属高等学校 1888(明治21)年 (東京都)	① レベルの高い教科教育、バランスのと れた教育課程、SGH 幹事校 ② 生徒中心の学校行事・学年行事	720人 (教員 42人)
附属駒場中・高 等学校 1947(昭和22)年 (東京都)	① 唯一の国立中高一貫男子校、SSH 校(4 期目) ② 学校行事で創造性とリーダーシップの 育成(音楽祭、体育祭、文化祭、水田稲作)	840人 (教員 45人)
附属坂戸高等学 校 1946(昭和21)年 (埼玉県)	① 総合学科高校のパイオニア (H6～)、 SGH 校、ユネスコスクール加盟 ② 生徒自らが科目を選択したオリジナル 時間割、1 年生全員が菜園体験	480人 (教員 43人)
附属視覚特別支 援学校 1876(明治9)年 (東京都)	① 唯一の国立視覚特別支援学校 ② 乳幼児期から職業課程まで世界の教 育者が集う学びの場	252人 (教員104人)
附属聴覚特別支 援学校 1876(明治9)年 (千葉県)	① 唯一の国立聴覚特別支援学校 ② 確かな日本語の獲得、ICT や自作の教 材教具の活用	282人 (教員 96人)
附属大塚特別支 援学校 1908(明治41)年 (東京都)	① 知的障害教育における先導的教育研究 ② 「学習内容表」と「教育課程(幼小・中・ 高)」を作成し全国に発信	76人 (教員37人)
附属桐が丘特別 支援学校 1958(昭和33)年 (東京都)	① 肢体不自由教育における先導的教育 研究 ② 個別の指導計画と自立活動の指導、 ICT や自作の教材教具の活用	141人 (教員 66人)
附属久里浜特別 支援学校 1973(昭和48)年 (神奈川)	① 知的障害を伴う自閉症児に関する先 導的教育研究 ② 自閉症教育実践研究協議会の開催	54人 (教員 38人)

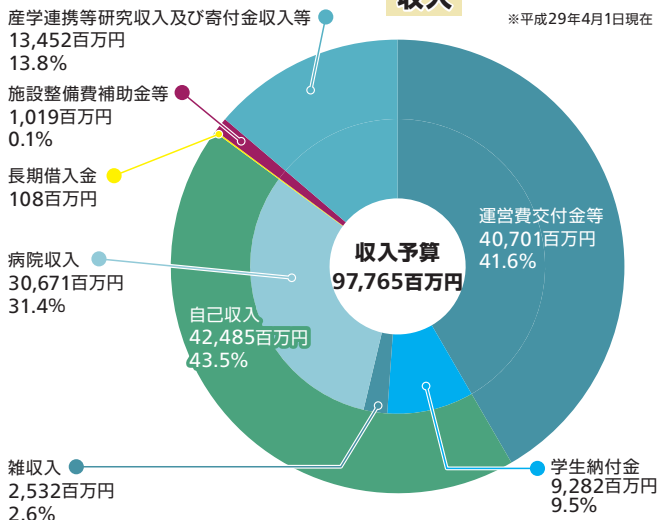
附属学校教育局は、附属学校(11校)の運営に関する公務について統括及び調整を行います。

16 収支予算

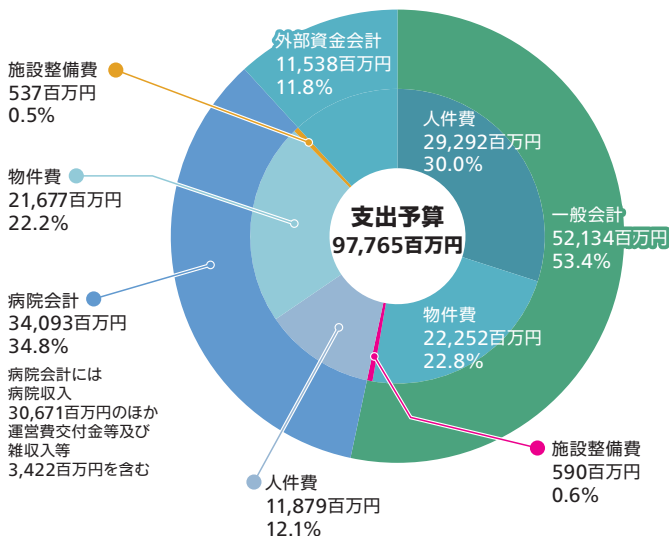
平成29年度筑波大学当初予算

収入

※平成29年4月1日現在



支出



17 施設配置図

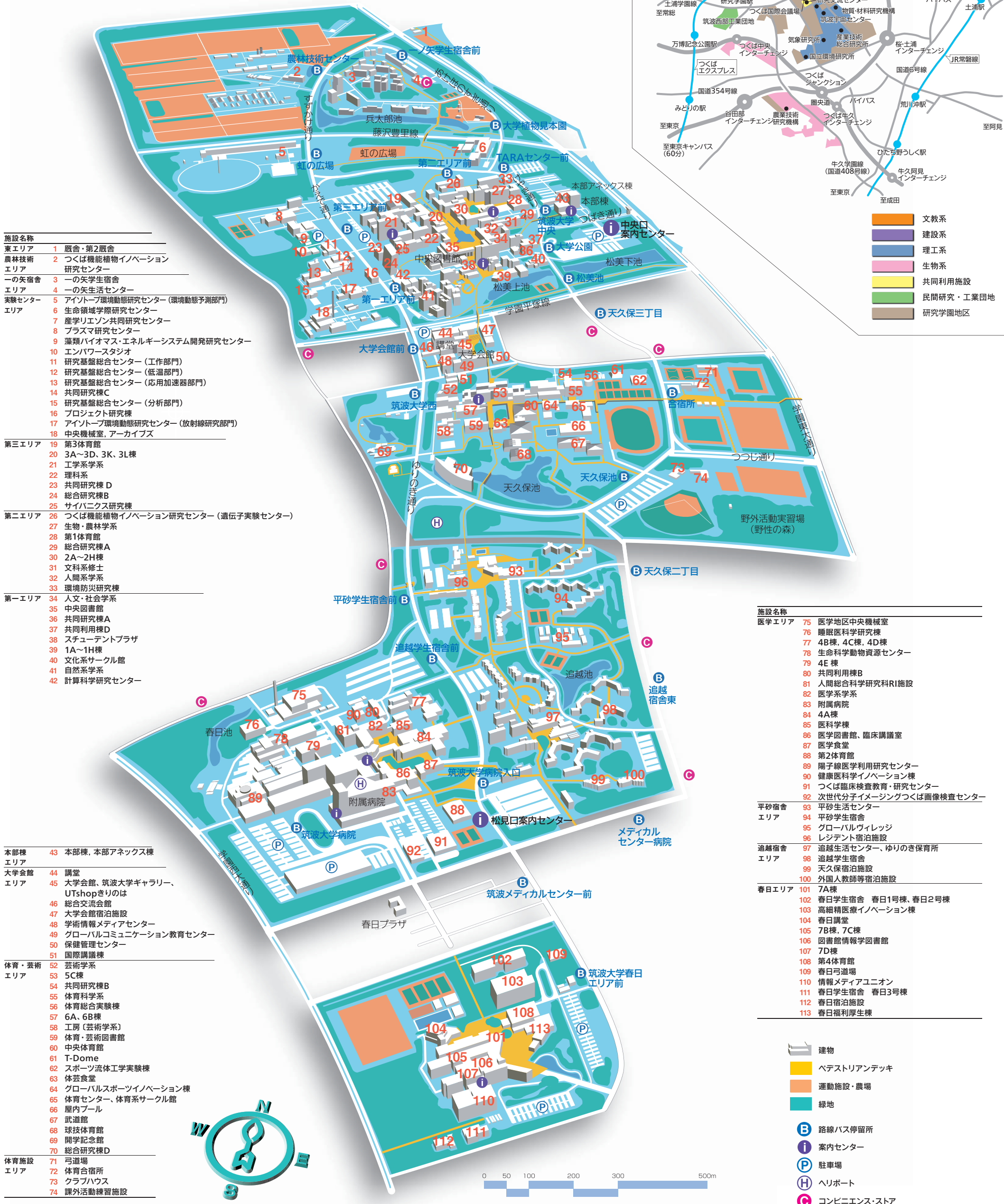
調和のとれた施設

筑波キャンパスは、南北に5キロ、東西に1キロに及ぶ約258ヘクタールの敷地を有しています。全体として森林公園を基調とした景観の中に、変化に富んだ斬新なデザインの施設がそれぞれ効率的に配置されペDESTリアンデッキと環状道路等で機能的に結ばれています。また、東京キャンパス文教校舎には、附属学校教育局と社会人対象の大学院を設置しています。

その他の施設等所在地

- 埼玉県 ●戸田艇庫・合宿所
- 千葉県 ●館山研修所
- 山梨県 ●山中共同研修所
- 長野県 ●八ヶ岳演習林 ●山岳科学センター
- 静岡県 ●井川演習林 ●下田臨海実験センター

筑波キャンパス



IMAGINE THE FUTURE.

地図とデータで見る 筑波大学リーフレット 平成29年度

編集・発行 筑波大学広報室
デザイン 木村浩
住所 茨城県つくば市天王台1-1-1
〒305-8577



筑波大学
University of Tsukuba

www.tsukuba.ac.jp